

(内示記者発表資料)

平成18年度

鉄道局関係予算内示要旨

17年12月20日

国土交通省鉄道局

1. 鉄道局関係予算内示総括表

(単位:百万円)

| 事 項 | 前年度予算額 (A) | 内示額 (B) | 対前年度 倍率 (B/A) | 備 考 |
|---------------------|---------------|------------|---------------------|-----|
| 1. 公共事業関係費 | | | | |
| 〔新幹線鉄道整備事業〕 | | | | |
| 新幹線鉄道整備事業費補助 | 70,600 | 70,600 | 1.00 | |
| 〔都市・幹線鉄道整備事業等〕 | | | | |
| 都市鉄道利便増進事業費補助 | 45,896 | 43,179 | 0.94 | |
| 地下高速鉄道整備事業費補助 | 626 | 150 | | |
| ニュータウン鉄道等整備事業費補助 | 32,688 | 29,879 | | |
| 幹線鉄道等活性化事業費補助 | 3,792 | 4,136 | | |
| 鉄道駅総合改善事業費補助 | 1,092 | 1,703 | | |
| 地下駅火災対策施設整備事業費補助 | 4,088 | 3,561 | | |
| 鉄道駅耐震補強事業費補助 | 3,000 | 2,850 | | |
| 地下鉄等災害情報基盤整備事業費補助 | 0 | 300 | | |
| 鉄道防災事業費補助 | 0 | 100 | | |
| 公共事業 計 | 610 | 500 | | |
| | 116,496 | 113,779 | 0.98 | |
| 2. その他 | | | | |
| 戦傷病者等無賃乗車船等負担金 | 349 | 287 | | |
| 鉄道技術開発補助金 | 1,198 | 1,197 | | |
| 整備新幹線建設推進高度化等事業費補助金 | 3,500 | 3,450 | | |
| 鉄道軌道整備費等補助金 | 3,502 | 3,469 | | |
| 交通施設バリアフリー化設備整備費補助金 | 3,170 | 3,000 | | |
| 公共交通移動円滑化設備整備費補助金 | 110 | 0 | | |
| 新線調査費等補助金 | 556 | 542 | | |
| 譲渡線建設費等利子補給金 | 743 | 743 | | |
| 年金給付等特例業務補助金 | 65,000 | 32,500 | | |
| その他 計 | 78,128 | 45,188 | 0.58 | |
| 合 計 | 194,624 | 158,967 | 0.82 | |

2. 新規制度等

| 事 項 | 内 示 |
|---|-----|
| <p>1. 地方鉄道における安全対策の推進</p> <p>平成17年4月のJR西日本福知山線の脱線事故を踏まえ、経営基盤の脆弱な鉄道事業者が行うATSの緊急整備等脱線防止対策に資する施設の整備が促進されるよう、支援措置の拡充を図る。</p> | 認める |
| <p>2. 鉄道の安全性向上に資する技術開発</p> <p>鉄道の安全、防災、環境等の基礎的、先導的な技術開発を推進する。</p> <p>① JR福知山線の脱線事故を踏まえ、車両の衝突安全性向上に関する研究</p> <p>② 中越地震による新幹線の脱線等を踏まえ、地震による鉄道構造物及び車両の走行への影響解析等の研究</p> <p>③ JR福知山線の脱線事故を踏まえ、運転士によるヒューマンエラーの要因等に関する調査</p> | 認める |
| <p>3. 鉄道駅耐震補強事業</p> <p>鉄道駅は不特定多数の人々が利用する公共の場であるうえ、大地震発生時には被災者への交通機関に関する情報提供の場、あるいは一時的避難や緊急活動の場として活用されるものであることから、その防災機能の強化を図る。</p> | 認める |
| <p>4. 地下鉄等災害情報基盤整備事業</p> <p>大地震発生時等には多数の地下部を運行する列車が停止され、車内に閉じこめられた多くの利用者の混乱等による二次災害を防止するためには速やかな情報提供と救出活動が必要となることから、地下鉄の電波遮断区間においても携帯電話による情報やラジオによる情報の受信が可能となるように地上波放送の再送信設備設置の整備促進を図る。</p> | 認める |
| <p>5. 乗継円滑化の推進</p> <p>鉄道路線間における乗継負担を軽減するために、ホーム・駅舎の移設、鉄道路線間の相互直通運転化等の事業を実施し、旅客の利便性の向上を図る。</p> <p>・西桑名駅（三岐鉄道）[新規箇所]</p> | 認める |
| <p>6. 都市再生に資する交通結節点整備の高度化</p> <p>自由通路や交通広場の整備と一体的に駅舎の改良やエレベーター、エスカレーターの設置等を行うことにより、円滑な歩行者動線の確保や駅内外のバリアフリー化等鉄道利用者や地域住民の利便性の向上を図る。</p> <p>・江古田駅（西武鉄道）[新規箇所]</p> | 認める |

平成18年度鉄道関係予算主要事項の概要

(単位：百万円)

1. 魅力ある都市

18年度予算額 (前年度予算額)

| | | |
|--|--------|----------|
| (1) 都市鉄道の利便増進 | | |
| ・連絡線等の整備及び周辺整備と一体的な駅整備 | 150 | (626) |
| (2) 地下高速鉄道の整備 | | |
| ・公営事業者等、第三セクターが行う地下鉄の新線建設、大規模改良工事等 | 19,174 | (19,337) |
| ・過去分 | 10,705 | (13,351) |
| (3) ニュータウン鉄道等の整備 | | |
| ・ニュータウン鉄道及び空港アクセス鉄道の整備等 | 4,123 | (3,771) |
| ・過去分 | 13 | (21) |
| (4) 幹線鉄道の活性化(旅客線化) | | |
| ・第三セクターが行う貨物鉄道の旅客線化 | 937 | (518) |
| (5) 乗継の円滑化 | | |
| ・鉄道における乗継円滑化の推進等 西桑名駅(三岐鉄道)【新規】 | 205 | (214) |
| (6) 鉄道駅の総合的な改善 | | |
| ・鉄道駅総合改善事業費補助(都市一体型) 江古田駅(西武鉄道)【新規】 | 1,161 | (2,142) |
| (7) 地下駅火災対策の実施 | | |
| ・地下駅火災対策施設の緊急整備 | 2,850 | (3,000) |
| (8) 鉄道駅耐震補強 | | |
| ・鉄道駅の耐震補強の緊急的实施【新規】 | 300 | (0) |
| (9) 踏切道の改良 | | |
| ・踏切事故防止等のための踏切保安設備の整備 | 200 | (200) |

2. 個性と工夫に満ちた地域社会

| | | |
|--------------------------------|--------|----------|
| (1) 新幹線鉄道整備事業 | | |
| ・新幹線鉄道整備事業の推進 [事業費 2,265億円] | 70,600 | (70,600) |
| (2) 在来幹線鉄道の高速度化 | | |
| ・幹線鉄道の高速度化の推進 | 360 | (207) |
| (3) 整備新幹線建設推進高度化等事業 | 3,450 | (3,500) |

| | |
|---------------------------------|------------------|
| (4) L R Tシステムの整備 | 18年度予算額 (前年度予算額) |
| ・低床式車両その他L R Tシステムの構築に不可欠な施設の整備 | 550 (685) |
| (5) 地方鉄道の安全対策及び再生 | |
| ・近代化設備整備等 | 2,618 (2,512) |
| 安全対策及び再生計画の推進【拡充】 | |

3. 公平で安心な高齢化社会・少子化対策

| | |
|-------------------|----------------|
| 鉄道駅におけるバリアフリー化の推進 | 8,443 (7,627) |
|-------------------|----------------|

4. 循環型社会の構築・地球環境問題への対応

| | |
|---------|------------|
| 貨物鉄道の整備 | 201 (153) |
|---------|------------|

5. 技術開発

| | |
|-------------------------|----------------|
| (1) 超電導磁気浮上式鉄道 (超電導リニア) | |
| ・リニア一般 | 704 (723) |
| ・高温超電導 | 100 (100) |
| (2) 軌間可変電車 (フリーゲージトレイン) | 3,450 (3,500) |
| | の内数 の内数 |
| (3) その他一般 | 393 (375) |

6. 安全・安心の確保

| | |
|-----------------------------|----------------|
| (1) 地下駅火災対策の実施 [再掲] | 2,850 (3,000) |
| (2) 鉄道駅耐震補強 [再掲] | 300 (0) |
| (3) 地下鉄等災害情報基盤整備 | |
| ・地下鉄等に対する災害情報提供のための施設整備【新規】 | 100 (0) |
| (4) 鉄道防災事業 | |
| ・落石・なだれ対策等事業及び青函トンネル改修事業 | 500 (610) |
| (5) 鉄道災害復旧事業 | 68 (68) |

7. その他

| | |
|------------------|-----------------|
| (1) 年金給付等特例業務補助金 | 32,500 (65,000) |
| (2) 譲渡線建設費等利子補給金 | 743 (743) |
| (3) 新線調査費等 | 542 (556) |

速度超過防止用 A T S の整備等地方鉄道における安全対策の推進

平成 17 年 4 月の J R 西日本福知山線の脱線事故を踏まえ、経営基盤の脆弱な鉄道事業者が行う A T S の緊急整備等脱線防止対策に資する施設の整備等について、重点的かつ効果的な支援を行う。

○近代化補助の拡充内容

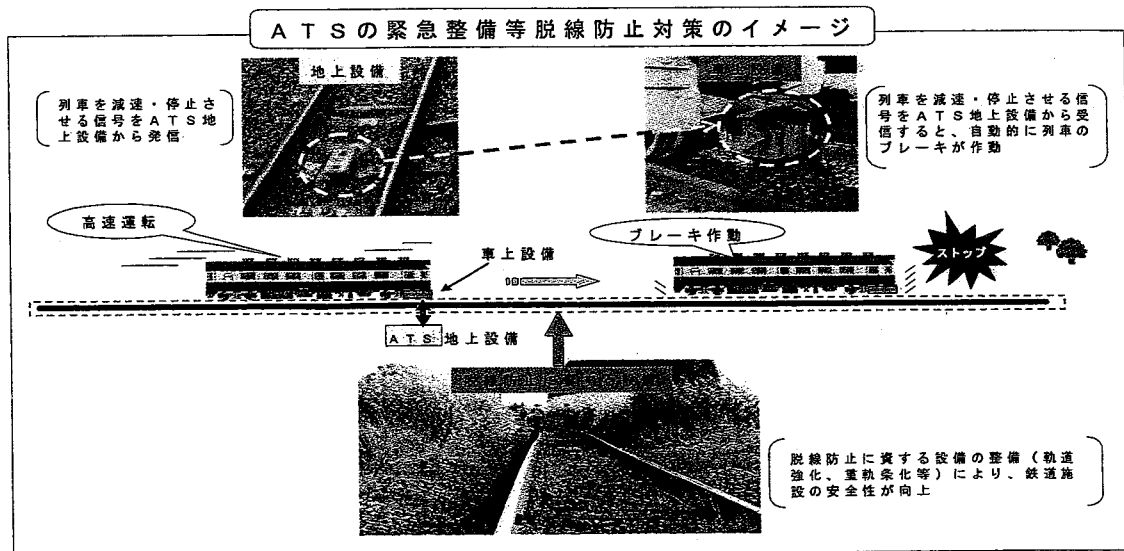
〈脱線防止対策〉

- ①速度超過防止用 A T S 等の緊急整備（1 年間に限る）：
速度超過防止用 A T S 等の緊急整備について、補助率かさ上げ（1 / 3 ⇒ 2 / 5）
- ②緊急保全整備事業の前倒し：
緊急保全整備事業で平成 19 ~ 20 年度に実施予定事業を 18 年度に前倒し
（補助率 2 / 5 : 軌道強化が対象）
- ③緊急保全整備事業の追加：
特に脱線防止に資する設備を緊急保全整備事業に追加し補助率かさ上げ（1 / 3 ⇒ 2 / 5 : 重軌条化等が対象）

このほか、モノレールの安全対策設備の補助対象化

（注）「緊急保全整備事業」：安全性緊急評価の結果を踏まえ平成 16 ~ 20 年度に緊急に改善を要する設備整備に対する補助事業（誤出発防止用 A T S 新設・改良、橋梁・トンネルの改修、軌道強化等） <平成 16 年度より実施>

○平成 18 年度予算内示（国費） 近代化補助 2, 6 1 8 百万円 （地方鉄道の安全対策及び再生）



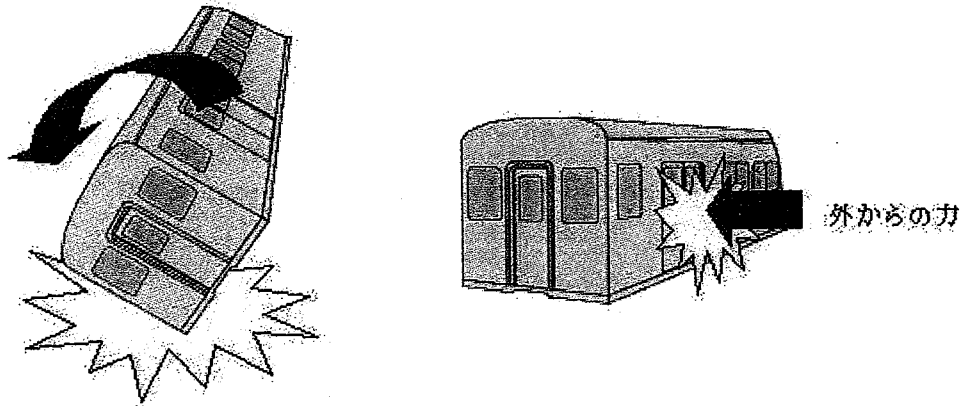
地方鉄道の安全運行の確保

鉄道の安全性向上に資する技術開発

鉄道の安全、防災、環境等の基礎的、先導的な技術開発を推進する。

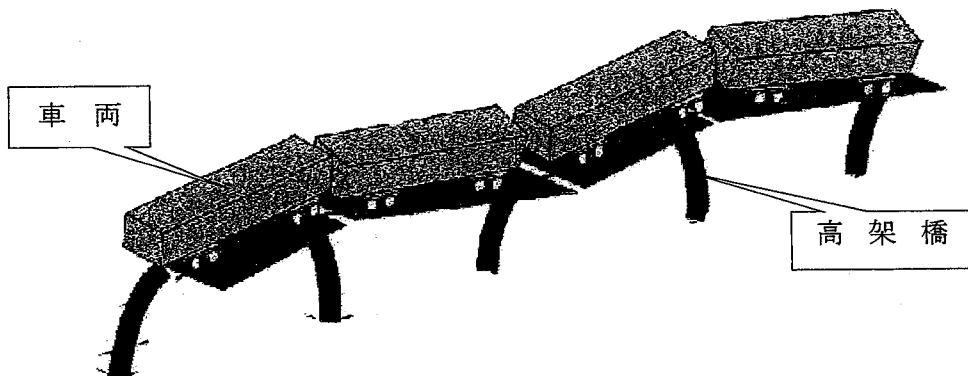
○技術開発概要

①JR福知山線の脱線事故を踏まえ、車両の衝突安全性向上に関する研究



車両強度の検討例（試験のイメージ）

②中越地震による新幹線の脱線等を踏まえ、地震による鉄道構造物及び車両の走行への影響解析等の研究



地震時における高架橋と車両の「揺れ方」のイメージ例

○平成18年度予算内示（国費）一般鉄道技術開発 393百万円の内数

※ このほか、庁費として運転士によるヒューマンエラーの要因等に関する調査費がある。

鉄道駅耐震補強事業

1. 事業概要

今後発生が予測される大規模地震に備え、緊急人員輸送の拠点等の機能を有する主要な鉄道駅について、耐震補強の緊急的实施を図る。

2. 補助対象事業者

第三セクター等（駅の改良整備・保有を業務とする）

3. 補助率

国：1/3、関係地方公共団体：1/3

4. 事業期間

平成18年度～平成22年度（5年間）

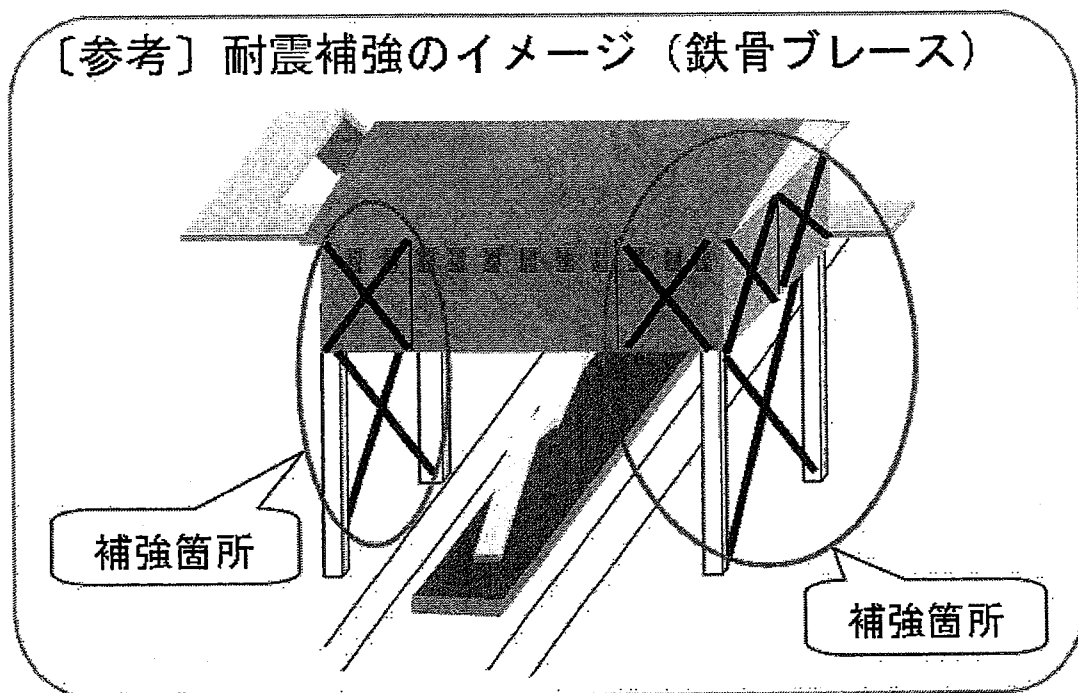
5. 補助対象となる駅

耐震化が未実施で、かつ、緊急人員輸送の拠点等の機能を有する、1日あたりの乗降人員が1万人以上の在来線駅

6. 事業費（新規）

| | | |
|--------|-----|--------|
| 平成18年度 | 事業費 | 900百万円 |
| | 国費 | 300百万円 |

7. イメージ図



地下鉄等災害情報基盤整備事業

1. 事業概要

大地震発生時等には多数の地下部を運行する列車が停止され、車内に閉じこめられた多くの利用者の混乱等による二次災害を防止するためには速やかな情報提供と救出活動が必要となることから、地下鉄の電波遮断区間においても携帯電話による情報やラジオによる情報受信が可能となるように地上波放送の再送信設備設置の整備促進を図る。

2. 補助対象事業者

公営地下鉄事業者等
第三セクター等（民鉄線の改良整備・保有を業務とする）

3. 補助率

国：1/4、関係地方公共団体：1/4

4. 事業期間

平成18年度～平成22年度（5年間）

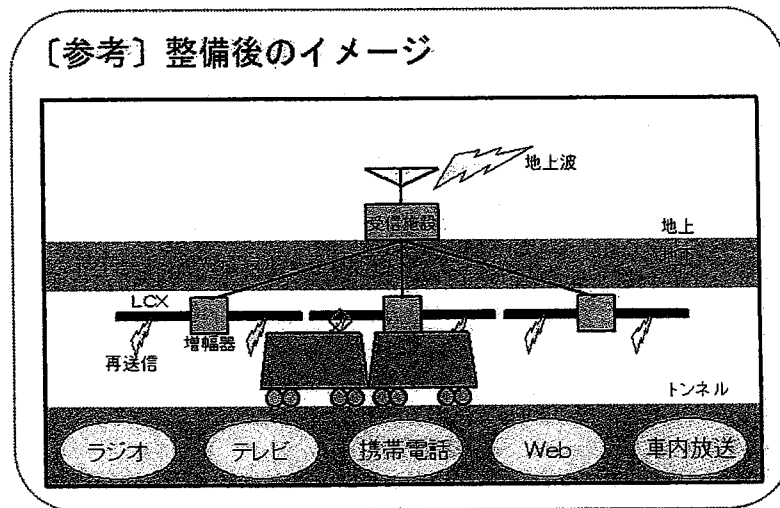
5. 補助対象となる施設

地下区間の通信・受信環境改善に必要な設備の設置
（LCX（漏洩同軸ケーブル）新設等）

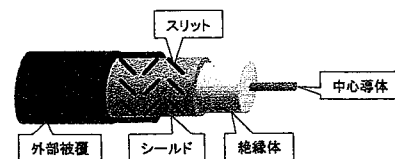
6. 事業費（新規）

平成18年度 事業費 400百万円
国費 100百万円

7. イメージ図



※ LCX（漏洩同軸ケーブル）[Leaky Coaxial cable]
同軸ケーブルのシールドに、わずかなスリットを設けることにより電波を漏洩させるという原理である。FMラジオから携帯電話まで幅広い用途に使用可能である。



北勢線の乗継円滑化（西桑名駅）

1. 事業概要

三岐鉄道北勢線の高速化事業と併せて、自由通路や駅前広場の再整備と一体的に西桑名駅のホーム・駅舎の移設等を行うことにより、桑名駅（近鉄名古屋線・養老線、JR関西本線）との乗継負担の軽減を図る。

2. 総事業費

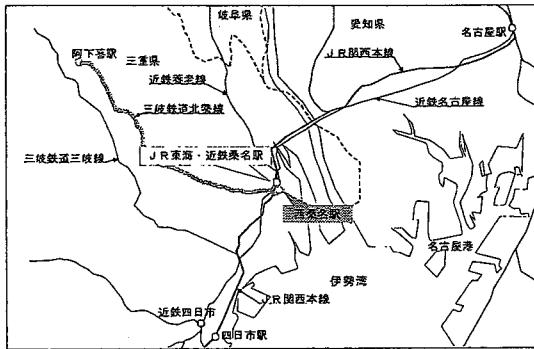
約2億円

3. 事業期間

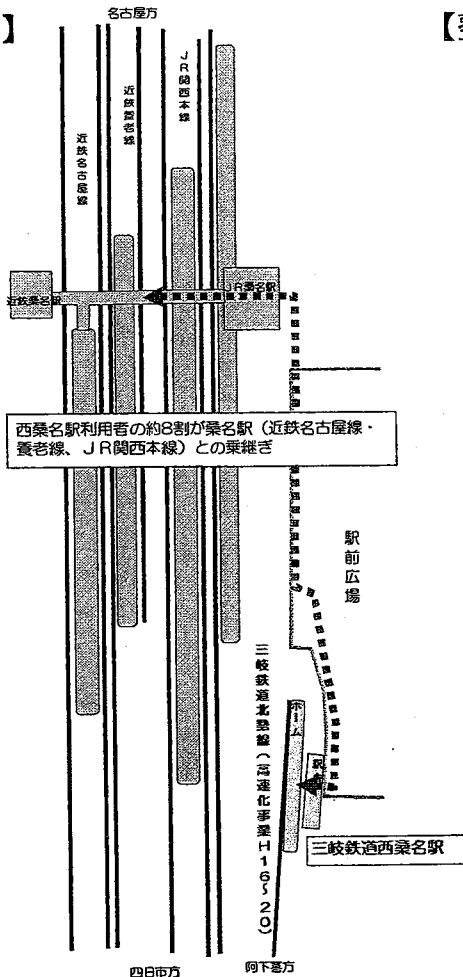
平成18～20年度

4. 概要図

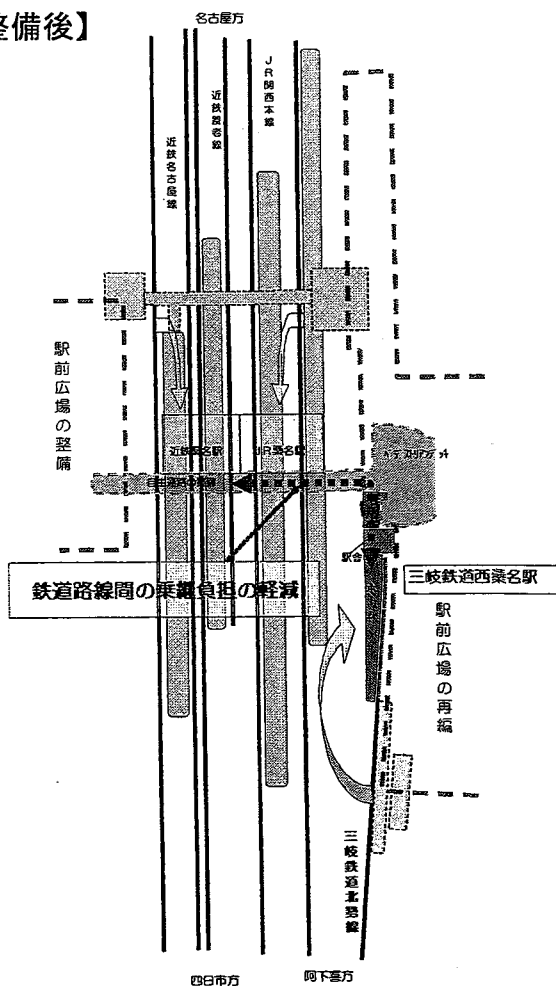
【路線図】



【整備前】



【整備後】



江古田駅〔西武池袋線〕

1. 事業概要

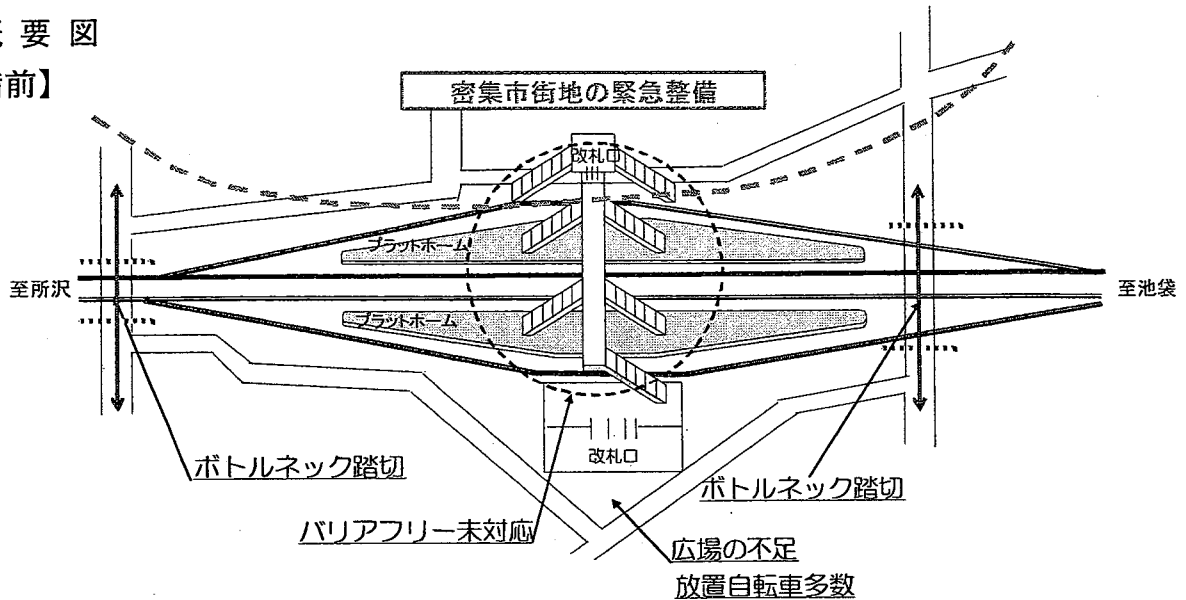
駅の南北を結ぶ自由通路の設置、広場整備及び密集市街地の整備と橋上駅舎化等を一体的に実施することにより、円滑な歩行者動線の確保、バリアフリー化、周辺交通の円滑化等、鉄道利用者及び地域住民の利便性の向上を図る。

2. 総事業費： 約13億円（鉄道駅総合改善事業費補助対象分）

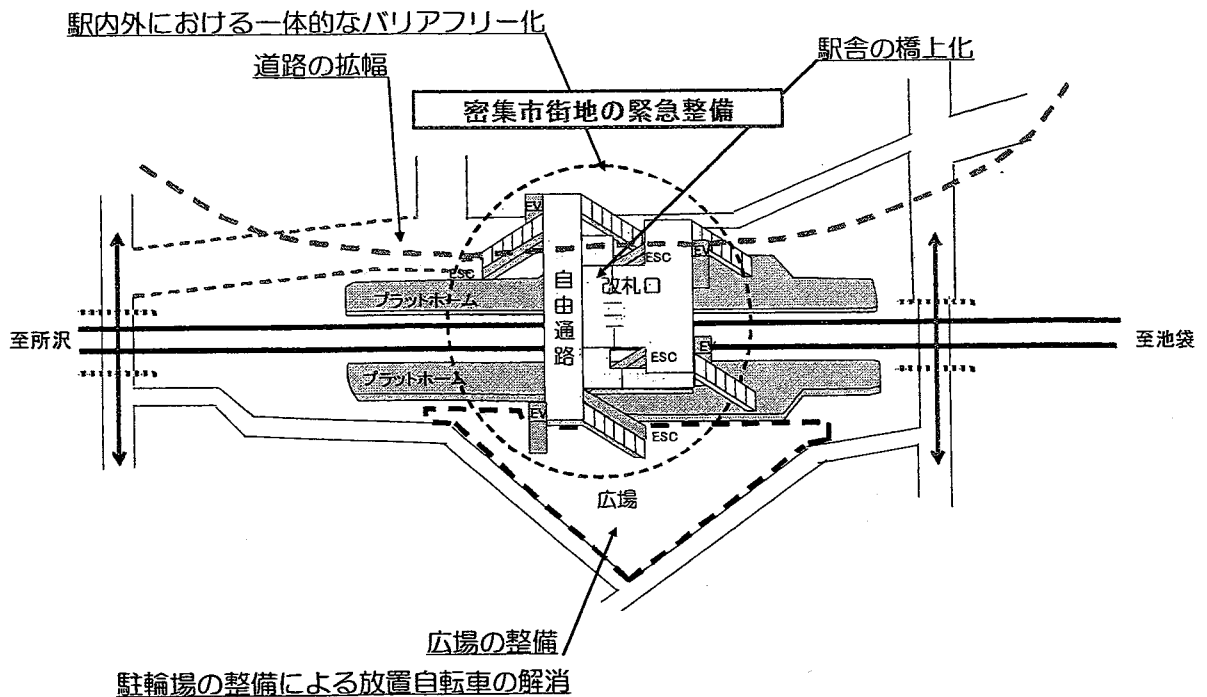
3. 事業期間 平成18～21年度

4. 概要図

【整備前】



【整備後】



○平成18年度都市鉄道利便増進事業費補助に係る補助対象予定路線等について

| 事 業 者 名 | 内 容 |
|-------------|---|
| 第三セクター等公的主体 | 相鉄・JR直通線の整備（相模鉄道本線西谷駅付近～JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近間 2.4km） |
| 第三セクター等公的主体 | 三宮駅（阪神電鉄本線）の整備 |

○平成18年度地下高速鉄道整備事業費補助に係る補助対象予定路線について

| 事 業 者 名 | 内 容 |
|------------|------------------------------|
| 仙 台 市 | 東西線の新設（動物公園～荒井間 14.4km） |
| 横 浜 市 | 4号線の新設（日吉～東山田、川和町～中山間 6.0km） |
| 名 古 屋 市 | 6号線の新設（野並～徳重間 4.1km） |
| 大 阪 市 | 8号線の新設（井高野～今里間 12.1km） |
| 中之島高速鉄道(株) | 中之島新線の新設（玉江橋～天満橋間 2.9km） |
| 西大阪高速鉄道(株) | 西大阪延伸線の新設（西九条～近鉄難波間 3.4km） |

○平成18年度ニュータウン鉄道等整備事業費補助に係る補助対象予定路線について

| 事業者名 | 内容 |
|---------------|-----------------------------------|
| 横浜市 | 4号線の新設（東山田～川和町間 7.1km） |
| 仙台空港鉄道(株) | 仙台空港線の新設（名取～仙台空港間 7.2km） |
| 成田高速鉄道アクセス(株) | 成田高速鉄道7号線の新設（印旛日本医大～成田空港間 19.1km） |

○平成18年度幹線鉄道等活性化事業費補助に係る補助対象予定路線等について

| 事業者名 | 内容 |
|---------------|---|
| 瀬戸大橋高速鉄道保有(株) | 宇野線・本四備讃線の高速化（岡山～児島間 27.8km） |
| 北勢線施設整備(株) | 三岐鉄道北勢線の高速化（西桑名～阿下喜間 20.4km） |
| 大阪外環状鉄道(株) | 大阪外環状線の旅客線化（新大阪～久宝寺間 21.9km） |
| 水島臨海鉄道(株) | 山陽線鉄道貨物輸送力増強事業（吹田信号場～北九州貨物ターミナル間 574.4km） |
| 神戸高速鉄道(株) | 尼崎駅での乗継円滑化（阪神本線・西大阪線） |
| ◎北勢線施設整備(株) | 西桑名駅での乗継円滑化（三岐鉄道北勢線） |

◎印は新規採択事業

○平成18年度鉄道駅総合改善事業費補助（都市一体型）に係る補助対象予定駅について

| 事業者名 | 内容 |
|------------|------------------|
| 蒲田開発事業(株) | 京浜急行本線・空港線：京急蒲田駅 |
| 横浜高速鉄道(株) | 京浜急行本線：横浜駅 |
| 日暮里駅整備(株) | 京成電鉄本線：日暮里駅 |
| 下井草駅整備(株) | 西武新宿線：下井草駅 |
| 東長崎駅整備(株) | 西武池袋線：東長崎駅 |
| 三日市町駅整備(株) | 南海高野線：三日市町駅 |
| ◎ 第三セクター | 西武池袋線：江古田駅 |

◎印は新規採択事業

○平成18年度鉄道防災事業費補助に係る補助対象路線について

| 事業者名 | 内容 |
|-----------------|-------------|
| J R 各社 | 落石・なだれ等対策 |
| 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 | 青函トンネルの改修事業 |